

策定趣旨

横浜市では、平成26年4月に「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行されました。この条例では、読書活動を「言葉を学び、感性を磨き、表現力、創造力等を高め、又は豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける上で大切なもの」としています。

条例に基づき、令和7年3月には、子どもから高齢者まで広く市民の読書活動を支えるため「第三次横浜市民読書活動推進計画」が策定されました。

この市計画を踏まえ、鶴見区では、区役所、図書館、学校、関連施設等が連携し、地域性に応じた読書活動の推進を図るため、今後の方向性を示すものとして「第三次鶴見区読書活動推進目標」（目標期間 令和7年度から概ね5年間）を策定します。この第三次目標は、第二次目標に基づく取組を継続しつつ、これまでの成果や課題、また、社会情勢の変化等を鑑みたるものとします。

一方、老朽化した豊岡小学校の建替えの機会を捉え、鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センター、鶴見区地域子育て支援拠点等を移転、複合化して再編整備する（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業（令和12年度供用開始予定）が進められています。この複合施設は、各施設の機能を重ねて連携することで、新たな出会いや、豊かな学び・体験・活動の機会を創出し、市民サービスの充実を図ることなどを目指しています。第三次目標は、この（仮称）豊岡町複合施設の開設も見据えたものです。

第三次 鶴見区読書活動推進目標



発行

鶴見区役所地域振興課

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1
TEL 045-510-1691 FAX 045-510-1892

鶴見図書館

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央2-10-7
TEL 045-502-4416 FAX 045-504-6635

関連
サイト

鶴見区読書活動推進

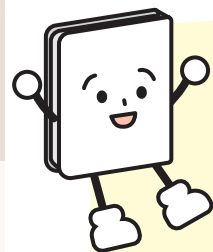
https://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/kurashi/kyodo_manabi/manabi/dokusho.html

（仮称）豊岡町複合施設再編整備事業

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/gakko/toyooka/>



令和7年 10月 鶴見区役所・鶴見図書館



鶴見図書館のマスコット「つるぼん」

目標 1

乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象にした取組を進めるとともに、デジタルの活用を図り、鶴見区らしい多文化共生の視点も取り入れ、すべての区民が読書に親しむことのできる環境づくりを進めます。

1 乳幼児

図書館のほか、乳幼児健診や保育所等の様々な場所で、子どもと保護者が、絵本やわらべうたに親しむことのできる取組を進めます。

- 取組例**
- ・「つるみっこ絵本広場」※1をはじめ絵本やわらべうたに親しむイベントの開催
 - ・子育て支援拠点「わっくんひろば」をはじめ、地域・関係機関と連携したイベントの開催
 - ・保護者や子育て支援者向けの講演会、講座の開催
 - ・保育所向けプログラムの実施（おはなし会、保育士向け研修等）



2 児童・青少年

子どもと本の世界を結びつけ、読書の楽しさを伝える取組を進めます。また、学校での読書活動の充実を図ります。

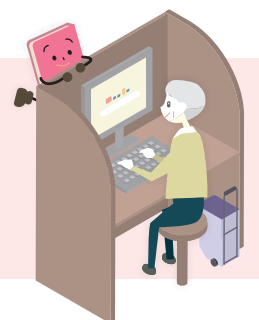
- 取組例**
- ・読書に親しむきっかけとなる体験型イベントの開催
 - ・中高生を対象とした図書館での職業体験の受入れ
 - ・図書館による、学校での読書活動支援、ボランティア向け講座の開催
 - ・司書教諭、学校司書、図書ボランティア等の連携による学校図書館の充実



3 成人

「つるみ読書講演会」（区役所・図書館共催）や郷土に関する講座をはじめ、読書に親しむイベントを開催します。また、本や読書に関する情報を積極的に発信します。

- 取組例**
- ・読書講演会、朗読会の開催や時節を捉えた本のテーマ展示
 - ・郷土に関する資料収集、展示、講座の開催
 - ・蔵書検索ページ使い方講座の開催
 - ・電子書籍サービスの利用促進



4 多文化共生

鶴見国際交流ラウンジ等との連携により、外国につながりがある方々に向けた読書活動支援に取り組めます。また区民の皆様が多文化に触れる機会を設け、多文化理解を促進します。

- 取組例**
- ・多文化理解につながる展示、イベントの開催
 - ・多言語資料の収集、提供
 - ・鶴見国際交流ラウンジ等との連携強化

5 読書バリアフリーの推進

視覚障害者等※2の読書環境の整備に取り組めます。

- 取組例**
- ・啓発イベントの開催
 - ・「りんごの棚」※3の設置
 - ・WEB上での各種サービス等、非来館サービスの促進・PR
 - ・社会福祉協議会等、関係団体との連携

目標 2

区内の読書活動を担う施設や読書ボランティアが、各々の活動について情報交換と事業連携を進め、地域全体で豊かな読書活動の場を醸成します。



鶴見区のマスコット「ワックン」

1 身近な読書関連施設のPR強化

図書館をはじめ、大学、地区センター・コミュニティハウス等の区民利用施設など、図書コーナーのある読書関連施設（以下、「各読書関連施設」）のPRに力を入れます。

- 取組例**
- ・区内の各読書関連施設一覧の作成・PR
 - ・ホームページ、SNSをはじめ様々な手法によるPRの実施



2 各読書関連施設の連携

区民の皆様の読書機会を増やすため、各読書関連施設が連携して読書活動を推進します。

- 取組例**
- ・「鶴見区読書関連施設連絡会」開催など定期的な情報交換や課題解決に向けた連携強化
 - ・読書月間（11月）における各施設でのイベント同時開催、一斉広報
 - ・各施設における図書コーナーの環境整備



3 読書ボランティア支援

区内で活動する様々な読書ボランティアの活動を支援します。

- 取組例**
- ・読書ボランティア養成講座の開催
 - ・グループ貸出※4の実施、本の相談
 - ・読書ボランティアによるイベントへの共催・後援等
 - ・つるみ区民活動センターとの連携による活動支援



4 大学、地域の機関・団体との連携

大学や様々な機関・団体と連携し、地域の課題解決につながるような読書活動を推進します。

- 取組例**
- ・鶴見大学、横浜商科大学との協力・連携による講座開催、広報等
 - ・「鶴見区の読書活動を広める連絡会」※5各機関との情報交換・相互支援
 - ・書店との広報活動等の協力
 - ・関係機関・団体との協力による様々なテーマ展示、啓発イベント開催等



※1 鶴見区福祉保健センターにおいて、4か月児健診、1歳6か月児健診を受診する赤ちゃんと保護者の方に、わらべうたと絵本の読み聞かせをする事業

※2 視覚障害、発達障害、肢体不自由その他の障害により、書籍について視覚による表現の認識が困難な方

※3 写真や絵でわかりやすく書かれた知識の本、点字つき絵本、ピクトグラムをついた絵本等、多くの人が楽しめる本を集めたコーナー

※4 読書活動を行う5人以上のグループに対して、30冊30日間を上限に貸し出す市立図書館のサービス

※5 区民が読書に親しむことのできる環境づくりを進めるため、区内の図書館や学校、ボランティア団体、区民利用施設、その他の関係機関等で構成する連絡会